

KindenMonitor Ver1.1

■ 概要

筋電位測定プログラム「KindenMonitor」(以下、本ソフトウェア)は、東京デバイセズで販売されている、筋電位センサ IWS940 用に製作したソフトウェアです。筋電位の様子をモニタリングするために製作しました。筋電位の確認やデータとして残したい場合にお使いください。

■ 動作環境

Windows 7, 8, 10

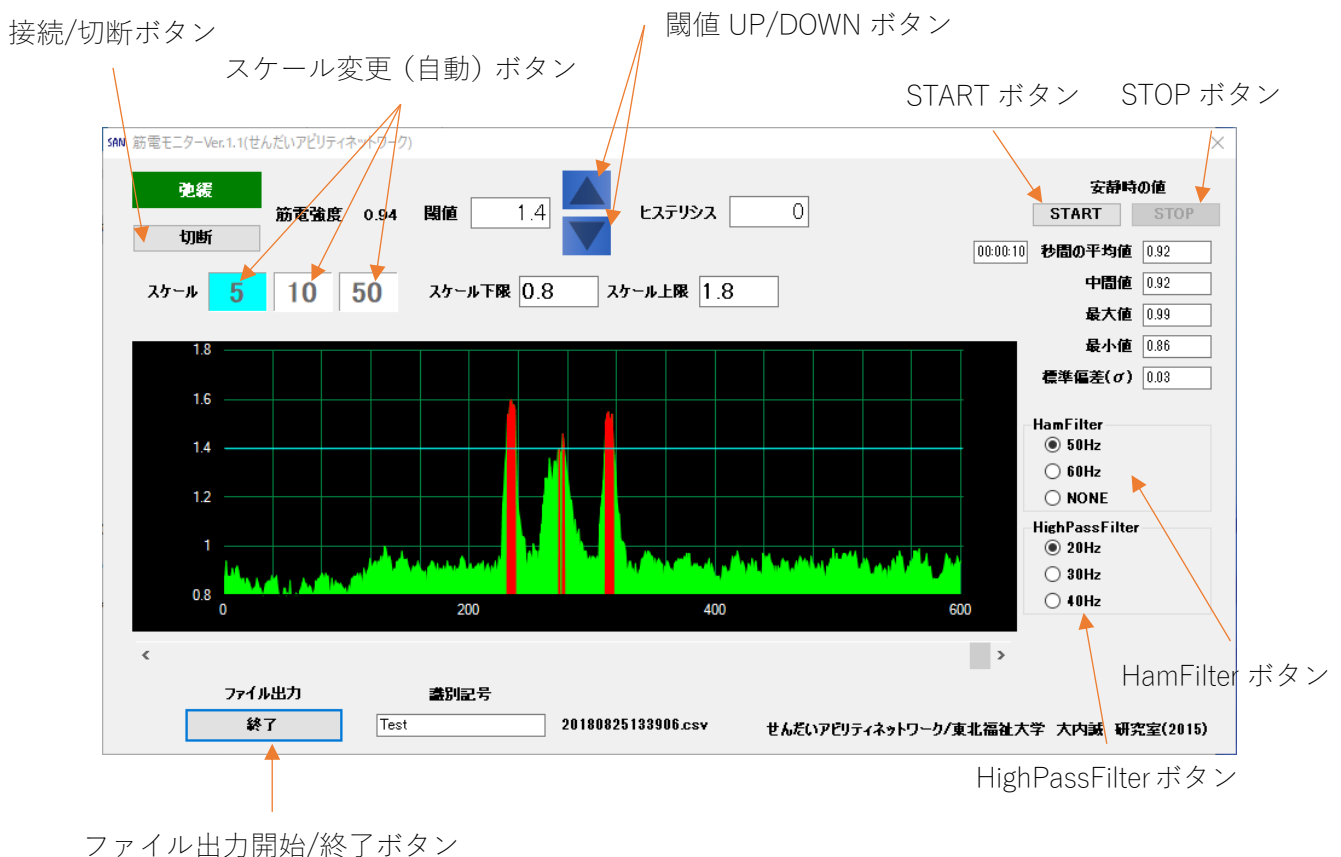
Microsoft .NET Framework 4.5 以上が必要です。

IWS940 及び IWS940 のドライバが必要です。

■ アンインストール

レジストリは触っておりません。削除の際はフォルダごと消してください。

■ 本ソフトウェアの各ボタンの紹介

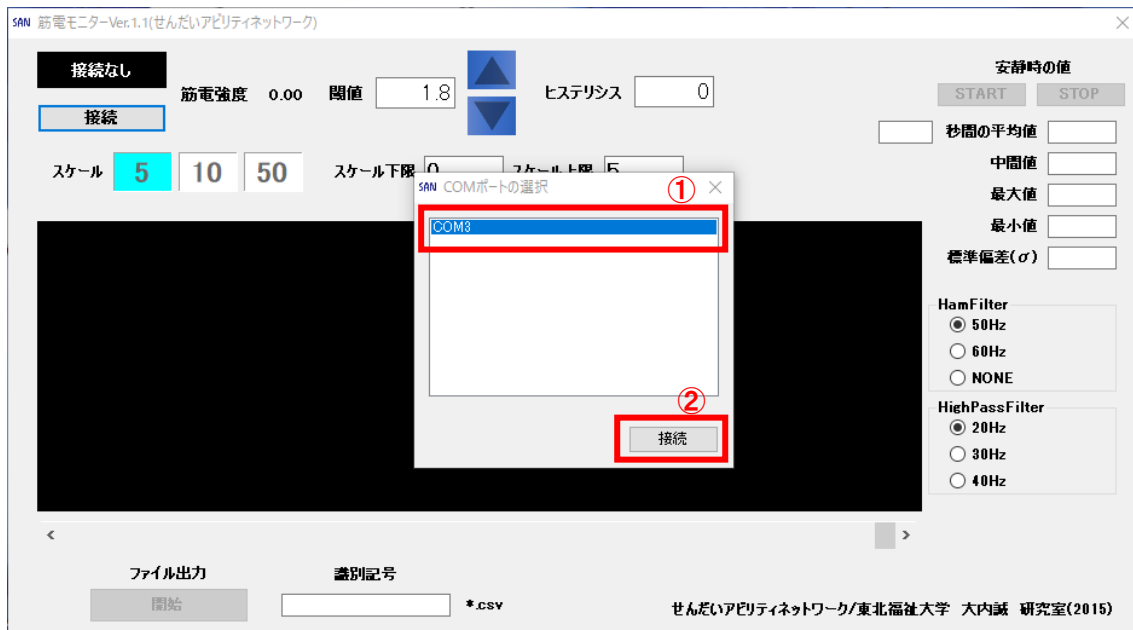


■ 使い方

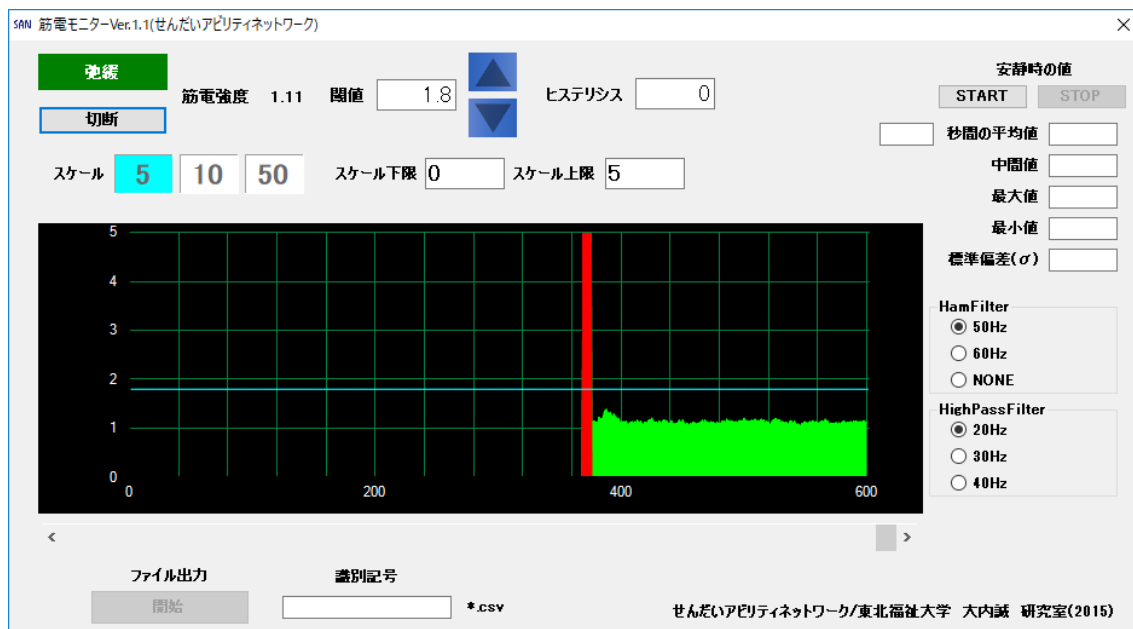
パソコンの USB ポートに IWS940 を接続し、KindenMonitor.exe を起動します。
本ソフトウェア起動後、「接続ボタン」を押してください。



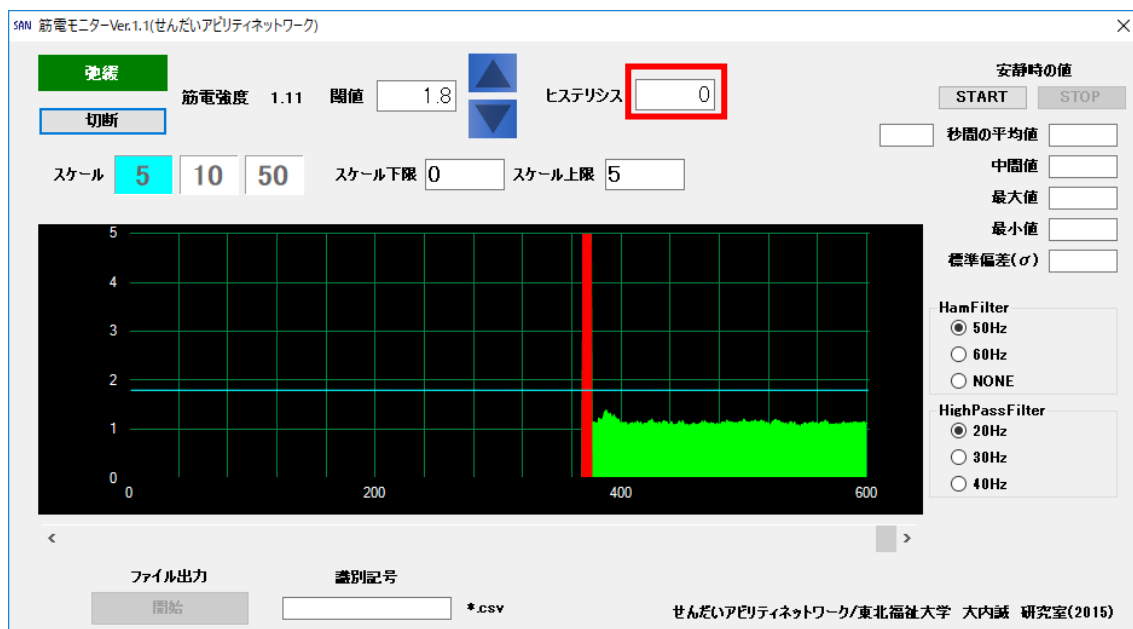
「COM ポートの選択」画面が表示されます。
IWS940 の COM ポート番号を選択し、「接続」を押します。



接続に成功すると、IWS940 が取得している筋電強度が表示されます。
閾値（水色のバー）の初期値は 1.8 です。
筋電強度が閾値を上回ると、通知音が鳴りグラフが赤色に表示されます。
筋電強度が閾値を下回ると、グラフが緑色に表示されます。

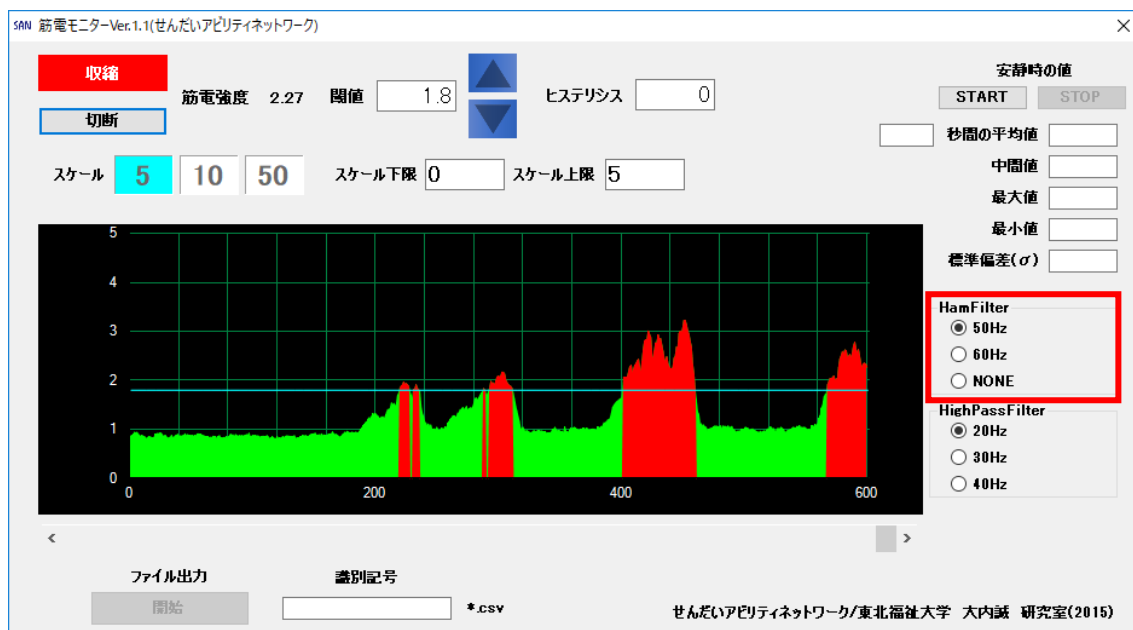


閾値のヒステリシスを半角数字で入力し指定します。
0 にするとヒステリシスは無しになります。



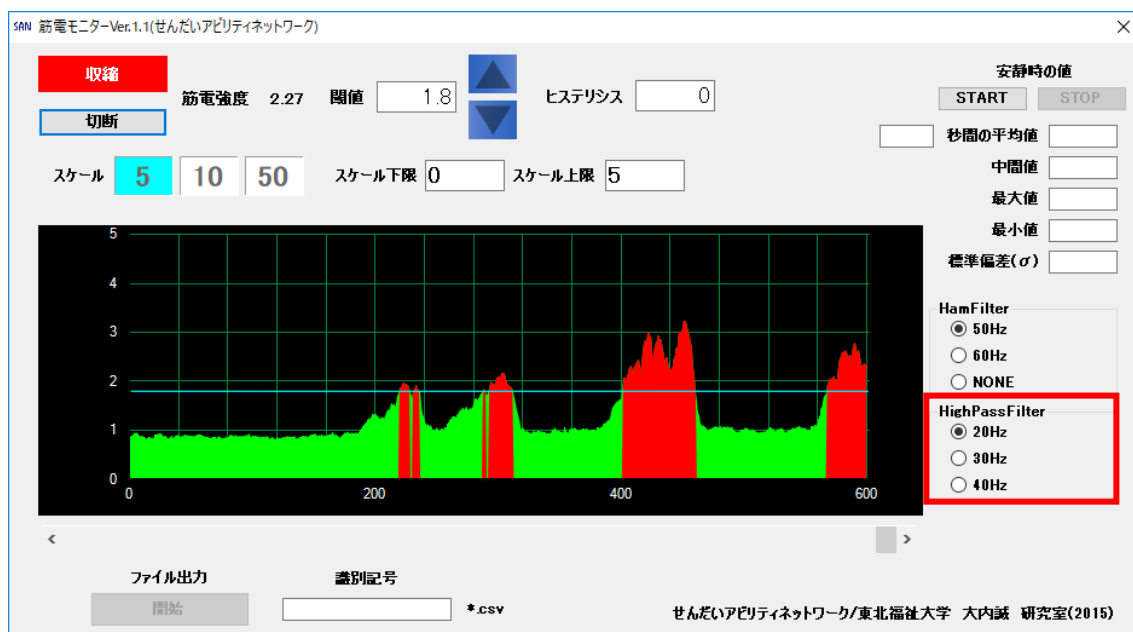
「HamFilter ボタン」を設定します。

商用電源から得られるハムノイズを除去するフィルタの周波数を指定します。



「HighPassFilter ボタン」を設定します。

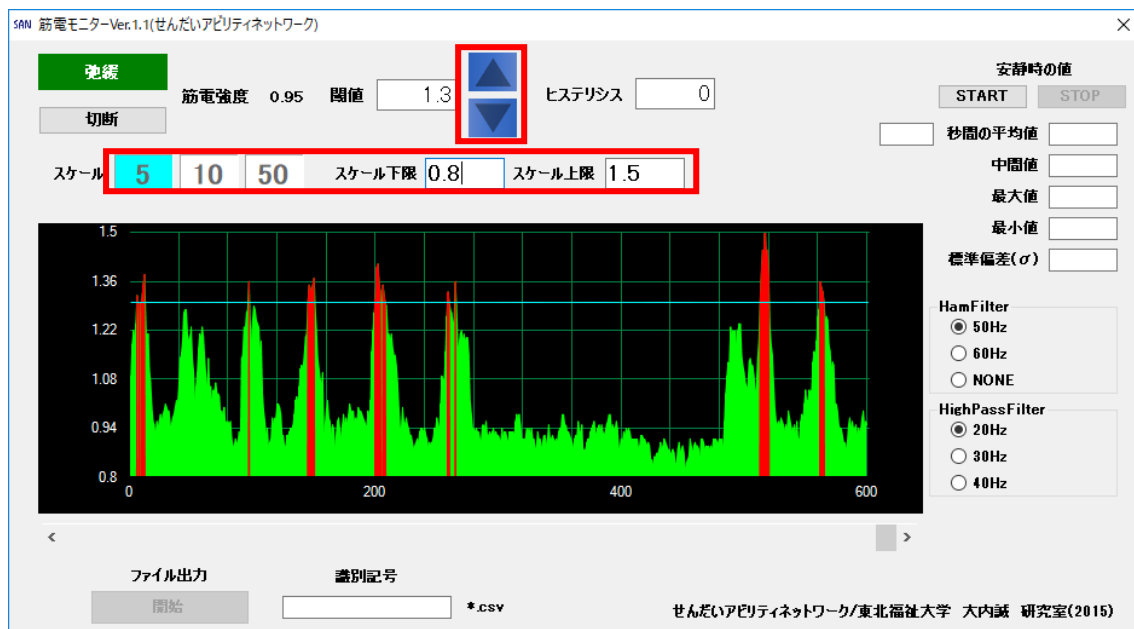
筋電強度の算出に使用する周波数の下限を指定します。



「スケール変更（自動）ボタン」を押すか、「スケール下限」もしくは「スケール上限」に半角数字を入力後、Enter を押すことでスケールの変更が可能です。

「閾値 UP/DOWN ボタン」を押し、閾値を調整します。

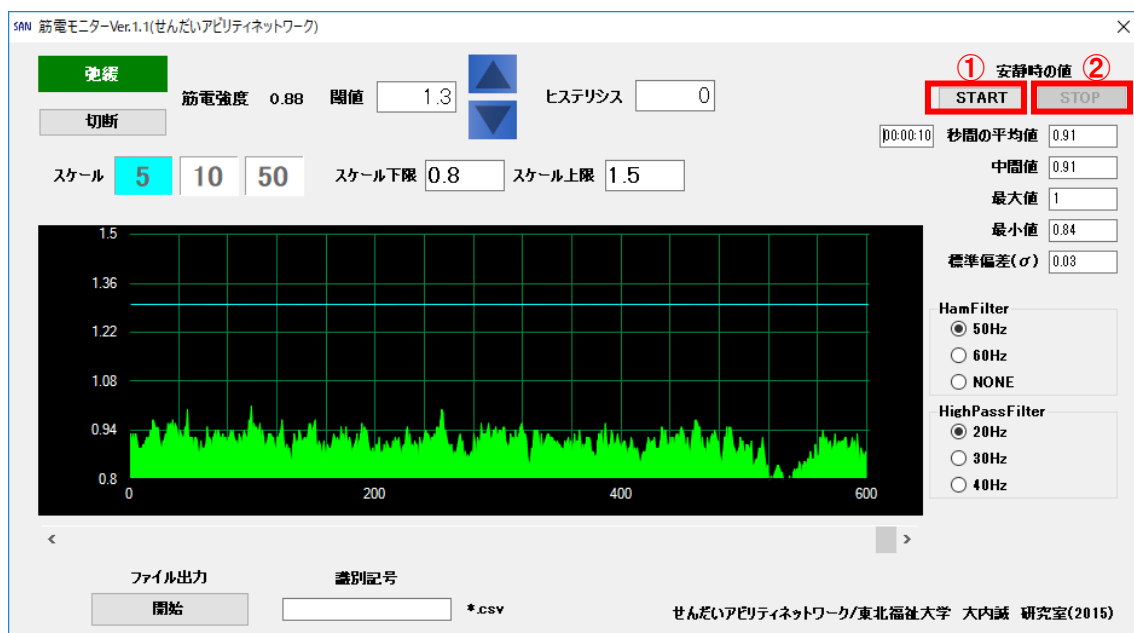
閾値は半角数字で入力し指定することも可能です。



安静時の値を取得します。

「START ボタン」を押してから T 秒後に「STOP ボタン」を押します。

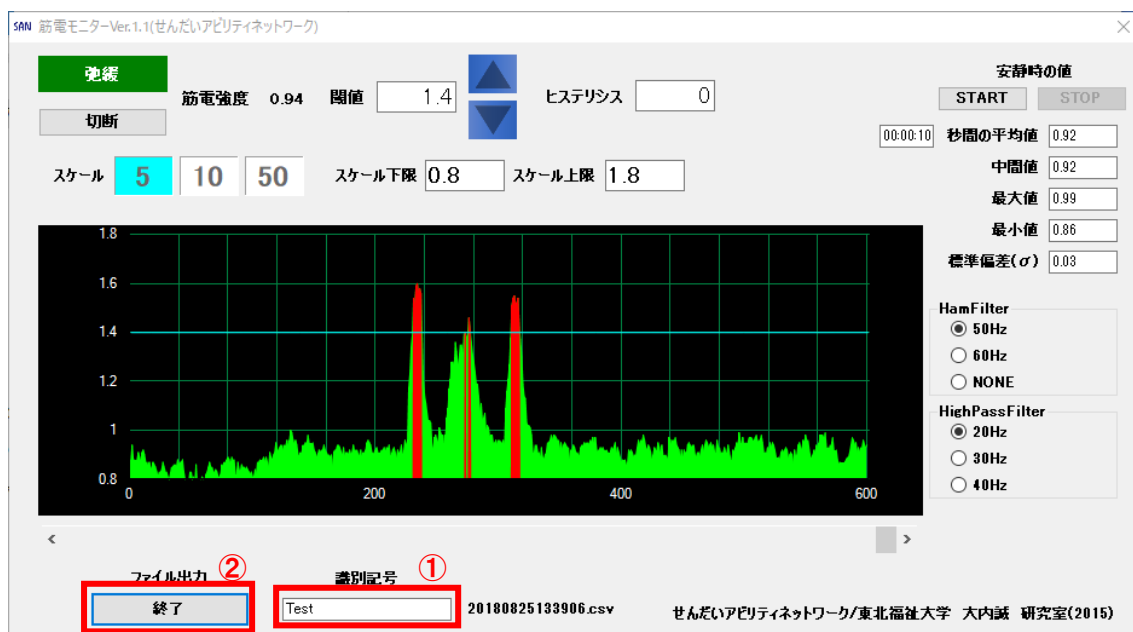
すると、T 秒間の筋電強度の分析結果が表示されます。



安静時の値を取得すると、CSV ファイルへのファイル出力が可能になります。

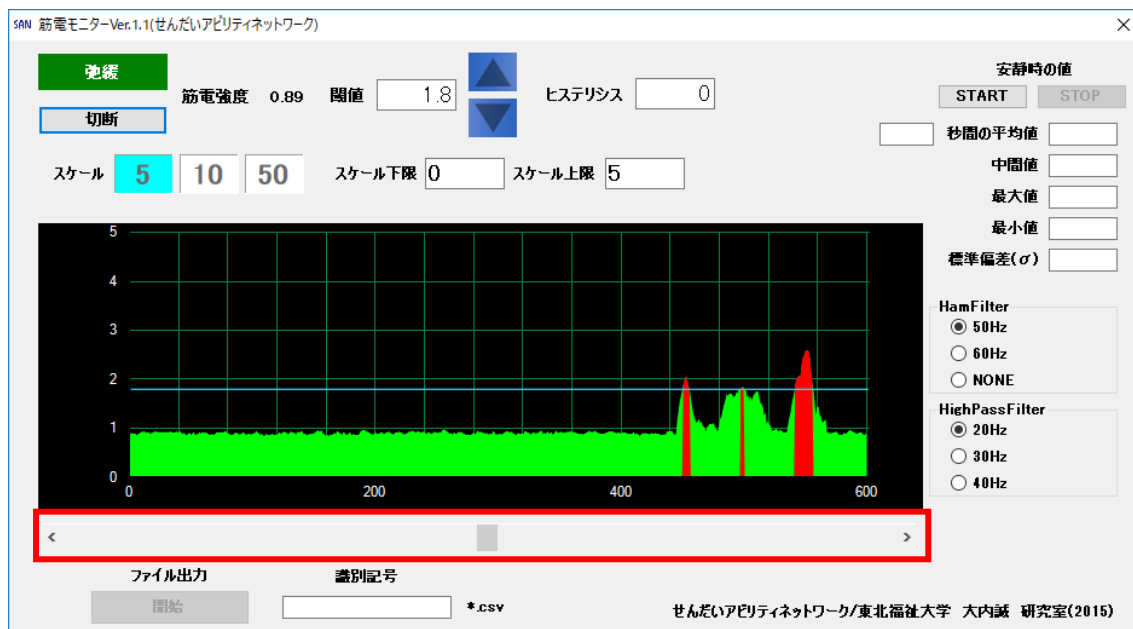
識別記号に CSV ファイルのファイル名を記載し、「ファイル出力開始ボタン」を押します。

「ファイル出力終了ボタン」を押すと、生成された CSV ファイルに筋電強度が記録されています。



過去に遡って筋電強度を確認したい場合は、スクロールバーを左右に操作します。

スクロールバー操作後、一定時間経過すると現在の筋電強度の表示画面に戻ります。



■ その他

本ソフトウェアを利用したことによって、ユーザが損害を被った場合でも、作者は一切の責任を免れることとさせていただきます。ご了承の程よろしくお願いいたします。